



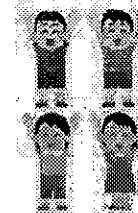
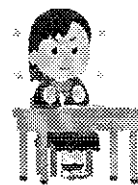
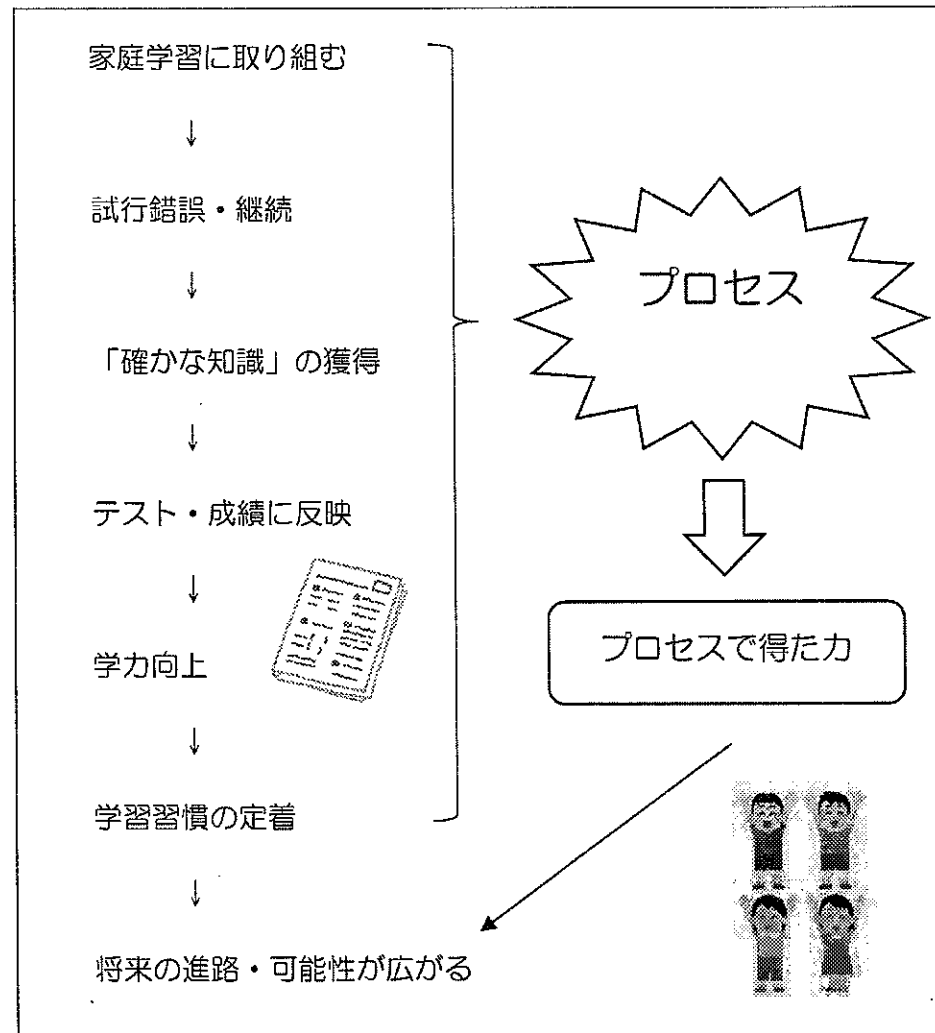
## ～家庭学習について その2～

前号に続いて、生徒の学びがさらに高まっていくよう、家庭学習の在り方について、お知らせします。

中学校での学びは、単に知識を蓄えるだけでなく、自分に合った学習方法を見つけ、自らを律する力を養う大切な時期にあります。高綱中学校ではこれからの時代を生き抜く力を育むため、「指示された宿題をこなす」形から、生徒自身が「自分の学びを調整する」家庭学習への転換を図っております。（前号より再掲）

### 2 家庭学習の「価値」：可能性を広げるプロセス

「宿題を提出したこと」自体が評価に直結するわけではありませんが、そのプロセスで得た力は、結果として成績や将来に大きく影響します。また、宿題の有無にかかわらず、家庭での取り組みを通じて身についた「確かな知識」は、テスト等の評価に直接的に反映されず。そして、自分を律して学ぶ習慣は、学力向上だけでなく、将来の進路や自分自身の可能性を広げる土台となります。



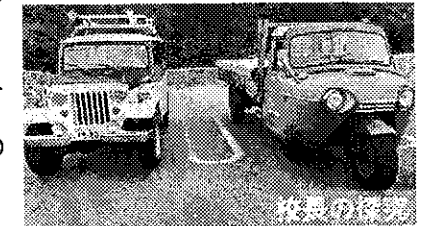
## ～5月参観日 校長講話より～

保護者の皆様、こんにちは。今日は、雨の中お越しいただき、本当にありがとうございます。私はこの4月よりお世話になっております、学校長の野澤重徳と申します。

まず、自己紹介をします。

私は松本の岡田の小さな農家で育ちました。実家はお蚕さんを飼ったり、セロリを出荷したり、お米を作ったりしていました。私が高校生くらいまでは、薪の風呂を焚くのが私の仕事でした。社会人になってからは、南は天龍村から北は中野市まで県内各地の学校で技術科を担当してきました。趣味は古い車をいじることです。

この写真は20代の時のものです。初任の上田市の中学校で、夏休みに車の整備工場に弟子入りして、自分の車を分解して整備しているところです。こんなことを30数年続けています。1学期の始業式で「探究しよう」というキーワードを紹介しましたので、まずは校長自身の探究を生徒に紹介しようと思っています。



これは最近の写真です。コンビニの駐車場に昭和30年代のオート三輪が止まっていたので、つい、持ち主が店から出てくるのを待っていて車の話をしたときのものです。

自己紹介はこれくらいにして、4月の学校の様子から感じたことをお話しします。入学式の2日後に3年生と共に京都・奈良へ修学旅行に行きました。どこの場所も海外の方が大勢、観光をされていました。中には渋谷のスクランブル交差点のようなにぎわいの所もありました。



これは2日目の班別タクシー見学の様子です。雨の中でしたが、海外の方と積極的に交流した班がいくつもありました。3日間で古都の伝統や文化を五感で感じて大きく成長した素晴らしい修学旅行となりました。高綱中学校の品格の高さを感じました。

次に日常生活の様子を紹介します。本年度の生徒会活動は「いろどり」というスローガンを掲げ、生徒が自主的に活動しています。朝は、気持ちのよいあいさつから始まります。

これは放送委員会がスタートした時の様子です。



3年生が1、2年生に放送の仕方を丁寧に伝えています。

こちらは図書委員会です。3年生が図書館のシステムを伝えています。



これは掃除の時間の1年生の様子です。ひざまずいて、丁寧に床をぞうきんがけをしています。プレハブ校舎のザラザラした合板の床も気持ちを込めて掃除する様子に感動しました。

学習については、全校でオリエンテーションを行いました。研究主任から学習のアドバイスを伝えましたが、保護者の皆様にも同じ画面でお伝えします。本校では主体的に学習に取り組む態度を育みたいと考えています。そのために、自分の弱点を理解し、強みに変換していく力や学んだことを次につなげる力をつけるために、家庭学習も大事に考えています。昔、家庭学習は白文長や数学・英語のノートの3点セットを提出するなんてことをやっていた。提出することが目的になってしまい、「やらされる宿題」でした。これからは主体性を育む「自分で考える家庭学習」にシフトします。家庭で、自分の学習スタイルを試行錯誤しながら確立していければと思います。1冊のワークブックをとことんやってみるでもよいですし、気になる新聞記事を読んだり、まとめてみるのもよいです。これからの予測困難な社会では、正解が一つとは限らない問題に向き合う力が求められます。そのときに必要となるのが、この「探究する力」です。「学力」すなわち「探究する力」を学校と家庭でつけていきましょう！時には、うまくいかないことや、答えが見つからないこともあるでしょう。しかし、それこそが「探究」の大切な過程です。あきらめずに考え続けることが、成長につながります。

もうひとつ、本校で楽しみなことがあります。今週のはじめに「わかたかタイム」のオリエンテーションがありました。一昨年度からはじまった取組で、お互いを知り、自分らしくいられる関係や環境をつくる場を設定します。現在、その活動のアイデアを全校から募集しています。こんな素敵な関係づくりができるといいなと思います。この1か月、とても落ち着いて生活していることに、高綱中の伝統を感じました。

最後にお願いが2つあります。生徒の皆さんが、この学校で多くのことに挑戦し、自分らしく学校生活を過ごすことを心から期待しています。

わかたかタイムははじめの一歩！  
わかたかタイムの目的

- ・一緒に楽しみ、一緒に作りだす活動を通して、
- ・お互いの個性を理解します。
- ・お互いの個性を受け入れます。
- ・お互いの個性を大切にします。

お互いが私らしくいられる関係や環境をつくっていきましょう

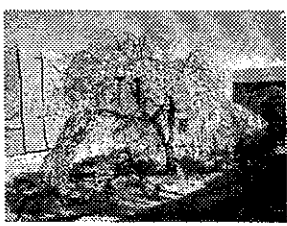
仲間がいれば  
協力できる  
一緒に食べれば  
一緒に寝れば  
楽しさ倍増！！

こんな高綱中生ってすごいですね

あなたはそれが苦手なのね

あなたはそれが好きなんだね！

聞いてくれてありがとう



こんな高綱中生ってすごいですね

ごっちは、私がやるね

これは僕がやるね

何か手伝うことがある？

## ～学校の様子から～

○生徒会入会式・説明会

生徒会の本部役員が中心となって、1年生の歓迎の会を行い、生徒会の説明や、校内の生活について話がありました。

○3年修学旅行

4月9日から3日間、京都奈良の古都を巡りました。事前に計画した見学場所へクラスまたは班毎に分かれて、たくさん歴史的建造物や庭園に触れ、充実した時間を過ごすことができましたようです。

○部活動発足

4月8日、2・3年生の部活動発足会が行われ、今年度の部活動がスタートしました。1年生も見学及び体験入部を経て、正式入部となりました。部活動の地域展開の流れにより、今年度は原則平日のみの活動となります。

○生徒総会

第1回生徒総会が行われ、今年度の生徒会スローガン及び活動計画等について、審議されました。生徒の工夫やアイデアが活かされる主体的な生徒会の活動を期待しています。

○メディアリテラシー講演会

講師に「子どもとメディア信州」の畠山さんにお越しいただき、高綱中生のアンケート結果から現状をふまえた SNS の利用についての話がありました。保護者の方々にも参観いただきました。

○鑑賞音楽会

「PPP BRASS」によるステージでした。全国各地のイベントや、TV番組や海外へ進出している有名なバンドによるパフォーマンスに合わせて、会場全体が一体となって盛り上がりました。